

愛知県看護協会職能委員会Ⅱ
令和5年度 介護老人保健施設 BCP 実態調査結果

【目的】

介護老人保健施設での BCP 策定と研修・訓練などがどの程度実施されているか、実態を調査し、課題を明らかにする。

【アンケート調査方法】

Web 調査として二次元バーコードから回答する。

調査項目（別紙参照）

【対象】

愛知県内の全ての介護老人保健施設 195 施設の看護管理者

【調査期間】

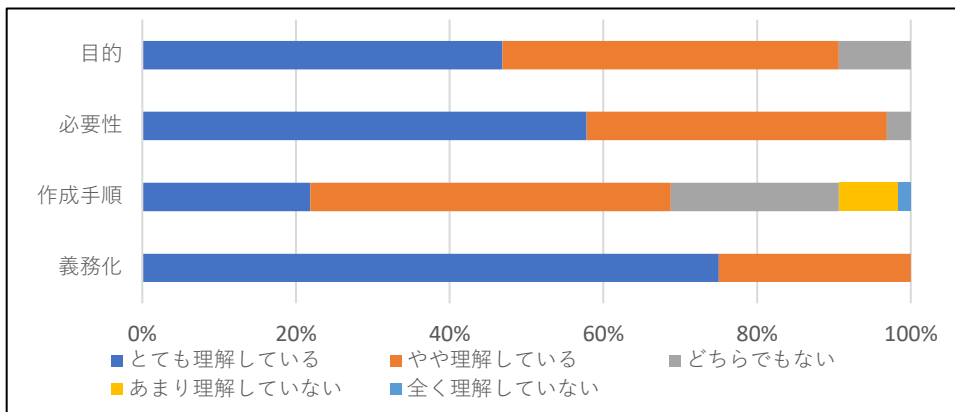
令和5年9月20日～9月30日

【倫理的配慮】

・愛知県看護協会倫理委員会審査で承認された。

【結果】

- 1) 回収数 64 施設（回収率 32.8%）
- 2) BCP に関する理解度

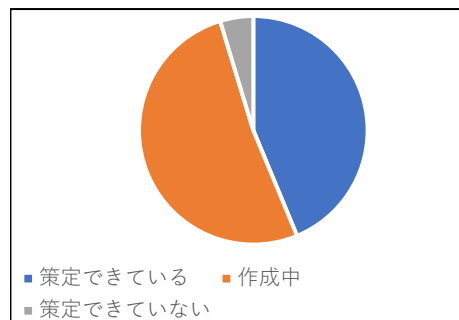


介護老人保健施設の看護管理者の 90%以上は、BCP 策定の目的・必要性を理解している。作成手順については、68.8%の理解であった。

3) 自施設の BCP について

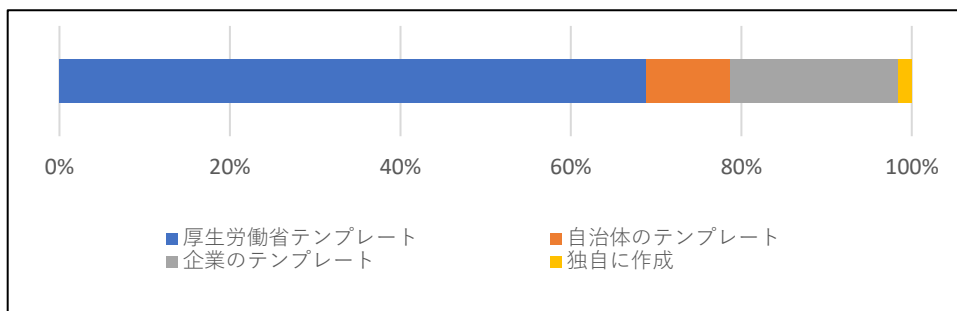
①BCP の策定状況

策定できている施設は、28 施設（43.8%）で、作成中の施設が 33 施設（51.6%）であった。



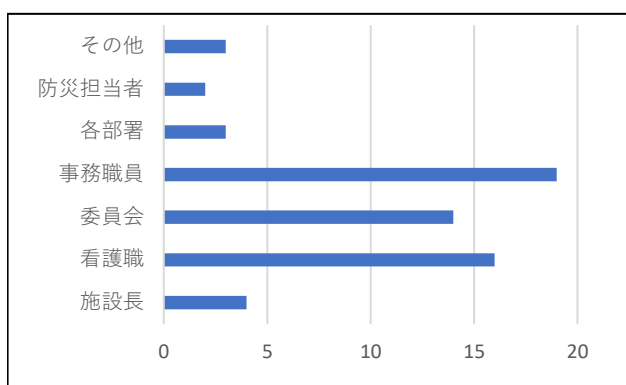
②BCP に関する委員会がある施設は 33 施設、ない施設は 31 施設であった。

③BCP 作成にあたり参考にしたもの

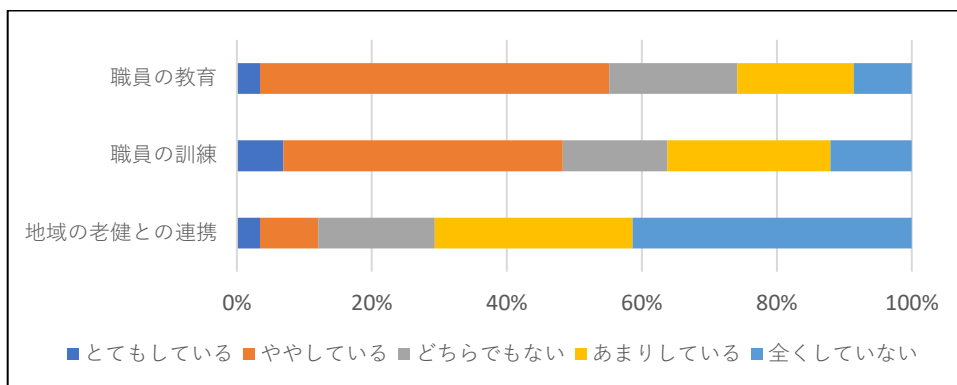


厚生労働省のテンプレートを参考にした施設が 42 施設 (65.6%)、企業のテンプレートを参考にした施設が 12 施設 (18.9%) であった。

④BCP を誰が中心に作成したか 事務職員、看護職、委員会、 施設長の順で作成していた。



⑤BCP 策定・作成中の施設で、職員対象の教育・訓練の実施



職員への教育・訓練は、とてもしている施設は 4 施設未満 (6%以下) であり、ややしているにとどまっていた。また、地域の他施設と連携できている施設は 2 施設であった。

⑥新型コロナウイルス感染症流行時に、BCP を活用した施設は、4 施設 (6%)、やや活用した施設は 23 施設 (35.9%) であった。

【まとめ】

自施設の BCP 策定済みは、約半数の施設で作成中が半数の施設であった。介護保険では令和 5 年度末の完成が義務付けられており、完成への支援が必要である。BCP の訓練は、「とてもしているとややしている」を合わせて 28 施設 (43.5%) であり、実際に活用できる BCP を目指し、訓練を強化することが課題である。また、地域連携 BCP はできていない現状であり、地域の中で多事業所や異職種、行政などとの情報交換を進めていく必要がある。